

しんち

広報

6月1日現在
()内は前月比

↑	2,083世帯 (-2)
♂	4,334人 (-10)
♀	4,555人 (-11)
合計	8,889人 (-21)

205号
63/7



相馬港が、国際貿易港に

六月一日

第一船の入港歓迎式

相馬港が外国船が直接入港できる「開港」の指定をうけた六月一日、2号ふ頭で第一船の入港歓迎式が行われました。

国際港第一号船となったのは、木材を積んだ、パナマ船籍のプリンセス・キャッスル号。歓迎式では、はじめに李船長に荒町長と今野相馬市長から日本人形をプレゼント。続いて港湾関係者など約十名が大きなクス玉を割ると、出席者から大きな拍手がわきおこりました。

「開港」によって相馬港は、国際港として、また福島県の表玄関として、いっそう整備が進められ、相馬地域開発の拠点港として、また宮城・山形両県の南部を含めた商工業の物流港として重要な役割を果たすことになります。

相馬港へは、これまでも外国船が入港していましたが、入国管理、検疫などの通関手続きができたため、いったんほかの港に立ち寄ってから入港していました。

地域ぐるみの 青少年健全育成

新地町青少年健全育成町民会議運営委員名簿

役職名	氏名	所属団体名	
会長	荒 和英	新地町長	
副会長	荒 秀雄	福田地区推進協議会	
	目黒 清房	新地地区推進協議会	
	伊達 昭	駒ヶ嶺地区推進協議会	
監事	門馬 昌治	福田地区区長	
	伊藤 一	新地地区区長	
健全育成活動部会	只野 鉄治	駒ヶ嶺地区区長	
	斎藤 賢一	福田地区推進協議会	
	菅野八重子	県推進委員	
	鎌田 益實	小学校代表	
	佐藤 清孝	福田小PTA代表	
	吉田 博	新地小PTA代表	
	林 一郎	民生児童委員代表	
	武田 雅文	青年会代表	
	環境浄化活動部会	森 正之	新地地区推進協議会
		今野 好子	婦人会代表
三島 義視		老人会代表	
伊達 昭		高校PTA代表	
非行防止活動部会	加藤 直義	文教厚生委員代表	
	桜井 正孝	駒ヶ嶺PTA代表	
	八巻 秀行	駒ヶ嶺地区推進協議会	
非行防止活動部会	山下 俊雄	中学校代表	
	横山 光男	中学校PTA代表	
	伊藤十治郎	防犯協会代表	
	鈴木 孝啓	商工会代表	
	鈴木 啓	高等学校代表	

青少年健全育成町民会議の総会が、五月三十日、老人憩の家で開かれ、今年度の事業計画などを決めました。

青少年健全育成町民会議は、次代を託す青少年を健全に育成するために、町民一人ひとりが子どもたちの生活の場である家庭・学校・地域社会の現状を見直し、それぞれの機能を發揮するために住民総参加で住民運動を推進していこうという組織です。そして、直接、育成にあたるのは町民会議の構成員となっているPTA、教育委員会、公民館、子ども会、スポーツ少年団、ボイスアウトなどであり、これらの地域に根ざした、つまり地域に住む人々一人ひとりが常に身近なものとして理解し協力していく支援体制が町民会議

おもな活動

健全な家庭づくり

毎月第三日曜日を家庭の日と定め、各家庭で家事手伝いについて話し合い、役割分担のもとに実践します。

あいさつ運動を徹底します。

明るい環境づくり

青少年にとってよくないたまり場や、危険なところを点検し

団体活動の援助

青少年団体・グループの研修会、リーダー養成などを行い、地域活動を超えた広域的活用をはかります。

また、育成団体の行事を掌握し連絡調整をはかります。

住民参加のよびかけ

広報しんち、看板、チラシなどで活動への参加をよびかけます。

「心」を育てる

社会教育主事 古宇田 栄増



家庭や地域の教育力の低下がさげばれている今日、その教育力を高める運動が、明日を担う青少年の健全育成を図るうえで最も重要と考えられます。

二十一世紀に向けての子ども教育目標は、「たくましい人間」「おもいやりの心」「創造性に富

んだ人間」の育成。個性・人間性・人格の形成をはかる教育の「育」の分野であり、「心」を育てる教育です。今、家庭の中で必要なのは、過保護、過干渉がなくし、健全な家庭教育の中で自立心をやしなひ、思いやりの心を育てることです。

県の派遣社会教育主事として、新地公民館にいられて三年目。公民館行事はもちろん地域の様々なグループ活動やボランティア活動の指導者として活躍されています。

先日のある新聞に、昔の子ども遊びの世界は、年令のちがうたぐさの子どもが自然の中で遊んだ。しかし、今の子どもは同年齢、小人数で、しかも家の中で遊び、部活や塾や勉強に追われている。そして、さまざまな体験がたりなく、人とのつき合いも浅く、自然とのふれあいが少ない。勉強はできるが誰かが当然知っているようなことを知らない子どもが多い。たとえば、中・高校生の十人に七人がイワシをサバと間違え、ホウレンソウとハクサイの区別がつかない。大学生が四本足の二ワトリの絵を書いた。そんなことが

紹介されてきました。だから今、自然とのふれあいを通して、いろいろな体験をすることによって、生命の神秘さ、生きることの尊さ、命の大切さを教えて行く必要があると思います。「心」を育てるのは、地域・社会・家庭が主体です。子ども同士が自然の中で遊ぶ機会がなくなったのなら、せめて親子で生きた自然の中に出て、生きた野外学習ができればすばらしいと思います。

幸い、本町は自然にめぐまれた環境にあります。人生の教科書でもある自然を大いに活用して、明日を担う青少年の豊かな心の育成のために努力しようではありませんか。

「人間よ自然に帰れ」



▲1日所長の横山京子さんより目録をいただきました。

●ありがとう募金へ
日本人の孤児たちを育ててくれた中国人養父母に感謝し、幸せな老後を送っていただくための募金で、老人クラブ連合会で取り組みました。
四十万二千三百四十円

過労(いねむり)運転・無謀運転を防止しましょう!

◎死亡事故は7~8月に多発しています。



青少年運転者の交通事故を防止しましょう!

◎ツーリングのシーズンを迎えて、二輪車の事故が多くなっています。交通ルールを守り、安全運転に努めましょう!



高齢者の交通事故を防止しましょう!

◎お年寄りに、みんなで愛の手を!



◎高齢運転者の事故が多くなっています。

交差点では必ず安全を確かめましょう!



夏の交通事故防止

県民総ぐるみ運動

7月20日~8月30日



(一)寄付ありがとうございました (4/21から6/20まで)

●教育振興基金へ
故鈴木ミサさんのご遺志により鈴木一夫さん(鉄炮町)より 十万円

●社会福祉協議会へ
故加藤みついさんのご遺志により加藤清一郎さん(岡)より 十万円

●故渡部キツさんのご遺志により渡部今朝雄さん(杉目)より 十万円

●故寺島秀雄さんのご遺志により寺島俊夫さん(小川)より 二万円

●故後藤テルヨさんのご遺志により後藤和夫さん(釣師)より 五十万円

●歌手の加山優妃さん(アピオ株)より 一万円



▲後藤和夫さんより寄付を受けとる荒町長



健康は、世界中の人々の永遠の願いです。健康であるということは、私たちにとって最高の喜びですが、残念ながら病気がやがのために輸血を必要とする方が大勢います。科学が進歩した今日でも、血液は人工的につくることができません。病気がやがと闘っている方たちのために、ぜひ献血にご協力ください。

「健康」と「愛」の証を献血で

献血日程

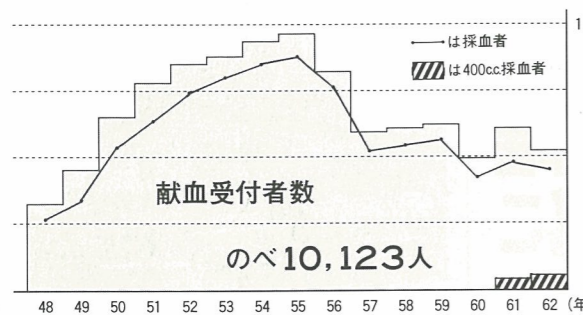
7月16日(土)

午前 老人憩の家 (10時〜12時30分)
 午後 新地漁協前 (1時30分〜4時)



町は、今年度の献血者数の合計が、一万人を突破しました。昭和四十八年度に始まった町の集団献血は、昨年度で十五年の間、献血のために会場を訪れた人は、のべ一萬二千三百七十七人(うち四〇〇cc採血者八十八人)で、ほぼ全町民が一回つ献血に協力していただいたことになりました。

また、献血された血液は生化学検査を行い結果をお知らせします。健康管理に役立てましょう。



献血できる方

400cc 献血
 年齢 満十八〜六十四歳
 体重 五十グラム以上(男をもち)

投稿

始めて町民との信頼関係も回復するし、プロデュース機能も発揮でき

は、ヒトをどのようにつなげ、どのように知恵を出し合い、異なる意見を調整し、合意を形成し実行して行くかのシクミづくりにかかっている。シクミの作り方がヒトを動かし、モノも生かしていく。

シクミの問題は、極めて幅広く重要な要素である。よく言われる、行政と町民の相互不信は、町民サイドにも問題はありますが、自治体行政がタテ割りで、自主性のない硬直的な法令や、前例に縛られた固定的な行動からぬけだせないことが最大の障害になっている。自治体行政は、タテ割りをやぶり、統合化した創造力のある組織に変えなければならぬ。そういう意味で、地域を越えた周辺の市町村と協議できるシクミも必要であるし、町民はもちろろん国や企業など、多くの主体にも働きかける事のできるシクミにしなければならぬ。

そこで、まず自治体の部局をヨコにつなぎ、ひとつのものとして動けるための企画調整機能を作り出すことが、シクミとして最も重要である。自治体が新しいテーマに対して独自にひとつのものとなつて、始めて町民との信頼関係も回復するし、プロデュース機能も発揮でき

る。そして、総合的に「まちづくり」を考えて行くことも可能になる。そこから、様々な新しい方法も出て来るだろう。いま、町では、二十一世紀に向けて活力ある町づくりをめざす振興計画地区委員会の参加者を、広く一般より募集している。私も、いの一歩に応募した一人であるが、様々な住民の意見を反映できる町民参加のシクミとして高く評価したい。

最も、町民との信頼関係といつても、総ての町民の声を鵜呑みにすることはできない。町民の要求や意見は様々な異なり矛盾する事も多い。町民の事務局として働くには、様々な町民が協調できるルールや、本当に将来のために必要なことを考えだし、町民との協議の中で説得し実現を図っていく、バイタリティが必要である。

「日本一の村づくり」が合い言葉の西白河郡泉崎村長は、「いま、村の興亡を決する重大時期を乗り切る計画に、金をつき込む必要のある一大転機にきたことを自覚しなければならぬ」と言つて、全村民一致の態勢をつくりあげた。

いま、新地町も一大転機にきたことを町民一人一人が自覚し、全町民一致の態勢づくりに積極的に取り組む姿勢こそ、何より欠かせない重要課題であろう。



▲ 役場周辺。左下は建設中の農村環境改善センター。

町民参加のまちづくり

快適で、住みよく、誇りのある、まちづくりを行うためには、行政のみ、あるいは民間のみでは、対応しきれない様々な要素をもった事業があり、町とそこに住む私たちは、協調して地域のニーズに合わせた活動を行っていくことが不可欠です。

このため、町では町民の知恵と力を結集した「振興計画地区委員会」の参加者を募集していますが、それに先立ち、自由な意見交換の中から町のめざすべき方向の提言をまとめる専門プロジェクトチームの初会合がこのほど行われました。



▲ プロジェクトチームの初会合

彩で、今後は、生活環境・建設、産業・経済、文教・厚生などの専門班に分かれ、独自に会合を重ね、町の現状と課題、活性化の方策などについて、地区委員会の声もふまえて自由に話し合い、その中から町のめざすべき方向と方策を探っていただきます。

そして、プロジェクトチームからの提言やアイデアは、策定本部でとりまとめ、最後に審議会、議会を経て町民参加の第五次振興計画が完成します。

振興計画地区委員会への参加申し込み、まちづくりについての提言、お問い合わせは左記へ。

企画振興課 ☎(62)2111
 内線58・35

町民参加の手順

町では、住民の参加による二十一世紀をめざした、まちづくりを進めています。

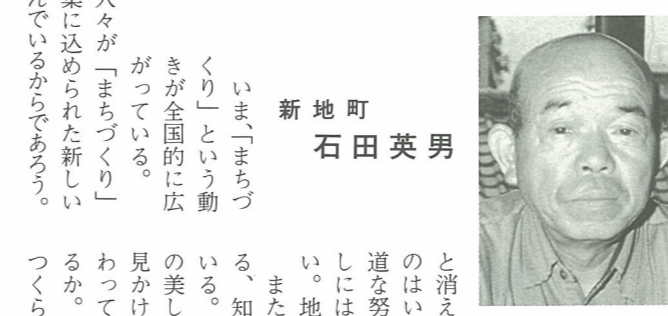
町民参加の手順

ちづくりの手順

は、まず、振興計画地区委員会、公募と地域の代表者などの百人で組織。アンケート調査、まちづくり講演会、地区懇談会などをとおして、幅広い意見や提言をいただくことにしています。なお現在、その参加者を募集しておりますので、どしどしご参加ください。

次は、今回スタートしたプロジェクトチーム。構成メンバーのほとんどは、まさに二十一世紀を担う二十から四十歳代の中堅男女、二十八人。職業も農業、漁業、商業、会社員、それに自主的に参加した役場職員など多

町を愛する人々の心をベースに



新地町 石田英男

いま、「まちづくり」という動きが全国的に広がっている。

それは、人々が「まちづくり」という言葉に込められた新しい発想を望んでいるからであろう。

「まちづくり」には未来を夢見るロマンがある。しかし、現実には簡単に動かない。ロマンだけなら「まちづくり」は花火のように一夜の夢と消えてしまうし、夢のないものはいつかしぼんでしまう。地道な努力の積み上げと、継続なしには「まちづくり」はできない。地味な仕事である。

また、お金もいる、技術もいる、知恵もいる。組織や制度もある。そして、町を愛する人々の美しい心がベースになれば、見かけ上の「まちづくり」に終わってしまう。そこで、どうするか。多種多様なヒトによってつくられる「まちづくり」の成功

公立相馬病院が「総合病院」に

公立相馬病院の名称が「公立相馬総合病院」と改められることになりました。

新地町と相馬市で作っている相馬方衛生組合では、公立相馬病院での総合的な診療をめざし、毎年、整備を進めてまいりましたが、関係機関のご協力と相馬市医師会のご理解により、

五月二十日付で「総合病院」とすることについて、福島県知事の承認をうけることができました。そこで、議会の議決を経たうえで、病院の名称を「総合病院」と改めます。今後も、地域住民の健康を守るため、いっそう充実した医療提供をめざしてまいります。



早く、しかも正確に

ポンプ操法

菅谷が二年連続優勝



新地町消防団ポンプ操法競技大会が、六月十九日、駒ヶ嶺小学校で開かれました。

大会には、各分団から二チームづつの合計六チームが出場。一刻の猶予も許されない消火作業に必要な、小型ポンプからホースを伸ばし、標的に放水し、収納するまでの、正確な操作や規律を競い合いました。

競技の結果、第一分団第一

部(菅谷)が二年連続の優勝。すでに自動車の部に出場が決まっている第三分団第八部(福田)とともに七月二十八日に相馬市長友グラウンドで開かれる消防協会相馬支部ポンプ操法大会に出場します。

〔競技結果〕

一位 第一分団第一部(菅谷) 菅野和弘、八巻賢次、菅野順一、協田芳文、八巻弘美

二位 第二分団第六部(小川) 荒野一、目黒信雄、桜井吉三、松野 廉 智

三位 第二分団第五部(中島) ◎自動車ポンプの部代表

第三分団第八部(福田) 渡辺市郎、桜井吉三、松野 廉 智

公民館・勤労青少年ホームの「こよみ」

- 7月
- 13(水) 子供読書会(午後3時 新地公民館)
 - 生花教室(午後1時30分 駒ヶ嶺公民館)
 - " (午後7時 勤労青少年ホーム)
 - 15(金) 装飾品教室(午後1時30分 新地公民館)
 - 17(日) 料理教室(午前10時 勤労青少年ホーム)
 - 19(火) 茶道教室(午後1時30分 駒ヶ嶺公民館)
 - 23(土) 社交ダンス教室(午後7時 駒ヶ嶺公民館)
 - 27(水) 婦人電気教室(午前9時 新地公民館)
 - 子供読書会(午後3時 新地公民館)
 - 28(木) 小学生とお母さんの料理教室(午前10時 新地公民館)
 - (8月には、お父さんとの料理教室も予定しています。)
 - 29(金) 装飾品教室(午後1時30分 新地公民館)
 - 料理教室(午前10時 駒ヶ嶺公民館)



子供読書会(新地公民館)

- 8月
- 2(火) 茶道教室(午後1時30分 駒ヶ嶺公民館)
 - 6(土) 社交ダンス教室(午後7時 駒ヶ嶺公民館)

公民館・勤労青少年ホームをお気軽にご利用ください。また、各種スポーツ大会や、教養を高める各種教室(講座)も行っています。こちらへも、お気軽にご参加ください。

新地公民館 ☎62-2085
 駒ヶ嶺公民館 ☎62-3477
 勤労青少年ホーム ☎62-3106

花と緑で心をつなぐ



緑化募金結果

(昭和63年度)

行政区・団体名	募金額	行政区・団体名	募金額
第1行政区	5,000	小賀坂組	5,000
第2行政区	6,250	角田建設	5,000
第3行政区	9,150	目黒工務店	5,000
第4行政区	5,150	渡辺建設	5,000
第5行政区	8,100	荒土木	5,000
第6行政区	6,950	千田建設	5,000
第7行政区	12,900	加藤一男	3,500
第8行政区	13,800	川上 進	3,500
第9行政区	9,450	菊地定男	3,500
第10行政区	8,600	菊地邦夫	3,500
第11行政区	3,900	小泉武志	3,500
第12行政区	9,150	町 職員	8,303
第13行政区	9,200	新地 高	1,400
第14行政区	7,300	尚 英 中	1,743
第15行政区	5,850	新地 小	2,000
荒 建 設	5,000	福 田 小	1,100
猪 狩 組	5,000	駒ヶ嶺小	2,560
猪狩建設工業	5,000	計	200,356

花いっぱい運動にご協力ください

今年も、花いっぱい運動が展開され、約二十五団体のご協力により町内各地の公園、空き地、集会所、道路などにサルビア、マリゴールドなどの苗が植えられました。管理と手入れも各団体をお願いしています。が、公民館では、栽培講習会や巡回指導も行います。

今年も緑化募金にご協力いた

だき、ありがとうございました。みなさんから寄せられた募金の合計は、二十万三千五百六円にもなりました。

これらは、県緑化推進委員会の活動や、花いっぱい運動、みどりの少年団の育成などのために有効に使われます。

花いっぱい運動を通して、子供たちの健やかな成長を、国道6号線の花壇にマリゴールドやサルビアの苗を植える青少年健全育成町民会議小川地区のみなさん。

拝啓

私どもは、御縁がありまして
 お家の近の街道が花で
 暮らしてあります。
 4月には商工会の当社の
 お世話で、くら、ちがが家
 であり、大変住みよい町だと
 聞き私も思いました。
 四季折々折りにあはりの
 園も美しい花をお届けよう
 張りかてあります。
 6月2日(日)には一杯の花
 お楽しみ。時々、雑草を
 取り除く。よろしくお願ひ致し
 ……花子

陶磁器の安全マーク



対象品目

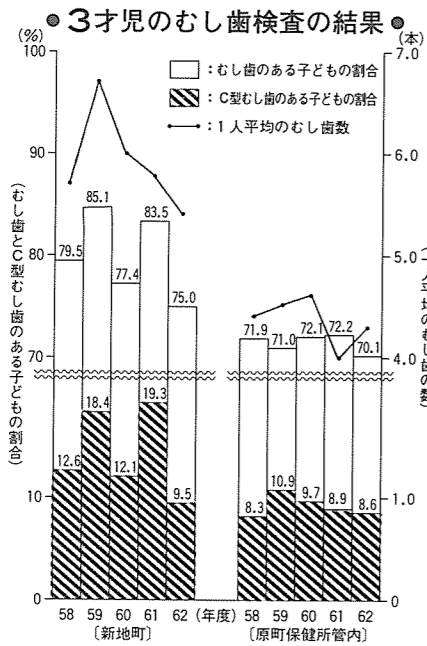
日本陶業連盟の会員である陶磁器製食卓台所用品(飲食物のふれるところに鉛、カドミウムを含んだうわ薬や色絵具を使用している製品)。

暮らしの中のマーク

わたしたちが日常使っている茶わんや皿などの陶磁器には、ほとんどのものに美しい絵付けや模様が描かれています。こうした絵付けや模様には、色のついた絵付けや模様の絵具が使われますが、これらの中には鉛やカドミウムが微量の鉛やカドミウムが含まれている場合があります。

そこで、日本陶業連盟では自主基準を設け、会員業者の製品から鉛やカドミウムが溶け出しにくいかどうかを検査しています。そして検査に合格した製品だけに、「陶磁器の安全マーク」を交付しています。

愛情でつつんできびしく健全育成



● 歯科指導会 ●

玉川春美先生(原町保健所歯科衛生士)による歯科指導会を次の日程で行います。お気軽におこしてください。

(日程)

時間	9時30分～10時30分	10時30分～11時30分
7月	駒ヶ嶺保育所	新地保育所
11日(月)	駒ヶ嶺保育所	新地保育所
13日(水)	浜保育所	福田保育所

歯は健康の基本

おいしいものを最高においしく食べる秘訣って、何だと思いませんか。新鮮な材料を使う、あまり手をかけない、みんなが楽しく食べるなど、いろいろあると思いますが、実は「自分の健康な歯で食べる」ということなのです。

しかし、昨年の全国の歯の疾患調査によると、永久歯のむし歯は平均一四・五本。たかが

むし歯と、安易に考えていませんか。むし歯による障害は意外に多い。むし歯が進むと、あごの骨が腐ったり、心臓や腎臓にも病気を起こし、リウマチや発熱の原因になります。

また、歯を抜いてしまうと、かむ力が極端に低下し、顔の形が変わったり、歯並びが悪くなったりします。健康な二十八本の歯のかむ力を一〇〇%とすると、第一大臼歯(六才臼歯)一本が欠けると、かむ力は四〇%に一気にダウン。総入れ歯では、わずか一〇%という数字もあります。では、健康な歯を保つためにはどうすれば良いのでしょうか。

まず、食後は食器を洗うのと同じく、自分にあつた歯みがき方法で、必ず歯を磨く習慣を身につけることが大切です。また、子供のおやつは要注意。子供のおやつとしては砂糖二十～二十五グラム位の量におさえましょう。約ポカリスエット一本分。平均八十一～一〇〇グラムもの量をとっているといわれています。時間、量、場所を決めて与え、回数は一日一回が理想。かむことは脳を刺激しますから、子どもの頭を良くし、お年寄りのボケ予防になるともいわれています。歯は、健康の基本です。家族ぐるみで、歯の健康を守りましょう。



▲ 保母の手に大喜び(福田保育所誕生会)

身長・体重測定、歯科検診、子どもの安全、健康面での行事

今年行事についてお知らせします。

毎月の行事
誕生会、避難訓練

年間の行事
春・秋の遠足、小運動会、いちごがり、父親保育参観、七夕まつり、運動会、七五三宮まいり、身近に働く人々を見る社会見学、保育発表会、もちつき会、クリスマス会、なわとび大会、節分豆まき会、ひな祭、お別れパーティー。

秋の運動会は、日ごろ保育所で経験している運動・リズム遊び等を、親子のふれあいの中でおこないます。どんな競技でも子どもたちは一生けんめいです。はやくても、おそくても「よくやった、ガンバッタネ」の一言が自信や励みになり、次の活動への意欲につながります。保育所では、年間をとおしていろいろな行事をおこなっていますので、保育所にお子さんがきていなくても、気軽に見に来てください。

春・秋の内科検診、交通安全教室、防災教室、このほか、保護者会主催のおたのしみ会、盆おどり花火大会など親子で楽しむ行事もあります。こうした行事を体験することにより「ヤッター」という満足感を味わい、それが喜びや自信につながります。また、子ども同士での交流も深まり、社会性や協調性が身につけていきます。

ほめることが
子どもをのばす
保育所の大きな行事である「運動会」について、ちよつとふれてみましょう。

保育所が
こころに
ちかは

良い見本親が示せば子もまねる

抜けるような青空に恵まれた六月五日、自然に親しみながら、のびのびと歩く町民歩こう大会(健康ウォーク)が、鹿狼山と地蔵森をめざす二つのコースで行われました。

今回で三回目を迎え、年中行事として定着しつつある歩こう大会には、今年も子どもたちからお年寄りまで約百五十名が参加。それぞれの集合場所から、新緑を楽しみながら、自分に合った歩調で目的地をめざし、さわやかな汗を流しました。

また、今年には鹿狼山頂では社会教育指導員の加藤邦昭さん、地蔵森では町史編さん委員の目

いい汗かきました 青空のもと、歩こう大会



▲ 景色も最高。マイペースで鹿狼山をめざす。

黒美津英さんによる町のミニ歴史講座が開かれ、町の史蹟や文化財、それに先人の業績などのお話に、新たな思いで眼下の景色を見直した人も多かったようです。

そして、思い思いに昼食をとったり、写真を撮り合ったりしていると、カラオケも飛び出し、いつもは静かな山頂に、にぎやかな声がかまされていきました。



▲ 新緑を楽しみながら地蔵森をめざす。

すべてのものに目を光らせて

県政モニター
菊地 幸子さん
(新地町)



六月一日に、知事公館で副知事から一人ひとり委嘱状が手渡されました。とても緊張しましたが、責任の重大さを感じました。でも、「何でもいいから、気がついたことを気軽に言ってくればいいです」というお話しに、内心ホッとしていました。

三十年ほど勤めた職場を退職して、それまでお世話になったお礼の気持ちで、地区の婦人会や保健指導員の仕事をさせていたいています。また、ママさんコーラスや編み物もしているのですが、けっこう忙しく毎日を送っています。

もちろん、県政に特別関心があったという訳ではありませんが、県政だよりや町の広報はこれまでも必ず目を通すようにしていました。モニターの任期は一年。主婦という立場からすべてのことに目を光らせていきたいと思っています。

主婦

空手
強いものに
あこがれていた

葛飾区空手道大会
高校生部三位
三宅 一博君
(相馬高校3年・木崎)

正晃館空手道場新地支部(荒司支部長)に入って、まだ一年くらいです。子供の頃から強いものにあこがれていたもので、友達に誘われて始めました。練習は毎週木曜と土曜の夜七時から九時まで。面白いというより、つらいことのほうが多いですが、好きだから続いているんだと思います。

空手を始めてから何事にも動じないというか、自信がついたような気がします。みんな、どしどし空手に挑戦してほしいと思います。

暖かき家庭の愛で子は育つ



5/21~6/20 届出

出生(届出は14日以内に) おめでとうございます。 (子供) (親) (地区) 達也 横山 智彦 上ノ町 一喜 寺島 一 大戸浜 恵 井上 和文 小川 和也 星 信 原相善 佑美 寺島 政明 小川 亨平 菅野 直志 菅谷

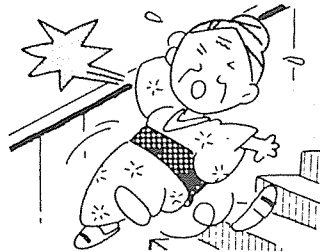
死亡(届出は7日以内に) おくやみ申し上げます。 (死亡者) (年齢) (地区) 小賀坂金雄 71才 釣師 石田幸平 78才 新地町 小野文雄 62才 釣師 荒孝子 25才 小川 寺島秀雄 89才 小川 今野アイ 62才 大戸浜 後藤テルヨ 77才 釣師 寺島ハル 79才 原相善 後藤顯治 69才 新地町 太田茂 80才 高田

6月のもえないゴミ収集状況

もえないゴミは、地区ごとに毎月15日~17日(日曜日や祭日に関係なく)に収集しています。収集日の朝8時30分まで、指定の場所にルールを守って出しましょう。

Table with 4 columns: Collection Area, Complete Collection Status, Uncollectible Waste (Out, Name, Separate), and Collection Location. It lists collection sites for 15th, 16th, and 17th of the month.

(6月23日調べ)



国民安全の日(7月1日)



昭和63年成人式 8月15日開催

今月の納税等 固定資産税 第二期 国民健康保険税 第一期 国民年金 七月分 水道料 新地地区(岡、杉目を除く) ※忘れずに納めてください

休日当番医

- 7月 10日 金子医院 3202 17日 井口病院 2422 24日 荒病院 2732 31日 善積医院 2165

町では、成人になられる方の門出を祝う成人式を、次の日程で開催します。対象者は、昭和四十三年四月二日から昭和四十四年四月一日までに生まれた方です。新地町にあらたに転入された方などで、該当する方は新地公民館(☎2085)まで、ご連絡ください。 日時 八月十五日 午前九時から (八時三十分受付開始) 場所 農村環境改善センター

- 5月 常盤自動車道建設促進期成同盟会総会 23日 県防犯協会総会 25日 産業建設常任委員会 26日 総務常任委員会、社会福祉協議会理事会、自治体病院協議会総会 27日 各小学校運動会、山元町、伊達市姉妹都市締結式臨時議会、相馬地方町村会総会 30日 相馬港開港第一船入港歓迎式 1日 相馬地域開発産業振興協議会・企業誘致促進協議会総会 2日 角田線JRBバス協力会総会、交通対策協議会総会 3日 福田地区ほ場整備現地調査 7日 相馬野馬追保存会総会 8日 固定資産評価審査委員会 9日 相馬港開港祝賀会実行委員会 10日 富倉、明地区運動会 12日 防火管理協議会総会 13日 真野ダム建設協議会総会 14日 県土地連合会館落成式 16日 土地改良区理事会 17日 消防ポンプ操法大会 19日 議会運営協議会 20日

町長日記 荒 和英

あ い さ つ で 広 が る 人 の 輪 地 域 の 輪